

さいたま市長 11月定例記者会見

平成29年11月24日（金曜日）

午後2時00分開会

- 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社の時事通信さん、進行をよろしく願いいたします。
- 時事通信 時事通信です。よろしく申し上げます。
それでは、記者会見の12月議会の議案ということで、市長のほうからよろしく申し上げます。
- 市 長 皆さん、こんにちは。
明日、25日から北区盆栽町の漫画会館で、「さいたま市北沢楽天漫画大賞入選作品展覧会」が開催をされます。さいたま市が日本近代漫画の先駆者であります北沢楽天ゆかりの地であることから、市民漫画展として開催している一枚漫画のコンテストで、今年で32回目を迎えます。国内外からの全934点の応募作品の中から入選した85作品の展覧会を開催いたします。ぜひお誘い合わせの上、ご来館ください。

市長発表：議題「さいたま市議会12月定例会提出議案について」

それでは、本日の議題に移らせていただきます。

本日の議題は、「さいたま市議会12月定例会の提出議案について」でございます。

平成29年さいたま市議会12月定例会を11月29日に開会いたします。議案提出数は43件でございます。

内訳でございますが、専決処分報告議案が1件、予算議案が6件、そして条例議案が14件、一般議案が15件、そして道路議案が2件、そして人事議案が5件になっております。

まずは、予算議案からご説明をさせていただきたいと思っております。予算議案は、一般会計補正予算、国民健康保険事業特別会計補正予算等、特別会計が3件、病院事業会計補正予算等、企業会計が2件、合わせて6件になります。

補正額といたしましては、一般会計では45億7,936万円でございます。また、特別会計は国民健康保険事業特別会計など3会計で3億3,686万円となっております。そして、企業会計につきましては病院事業会計など2会計で13億4,478万9,000円。合計といたしまして、62億6,100万9,000円となっております。

それでは、補正予算の特徴についてご説明をさせていただきたいと思っております。

まず、1つ目、子育て支援の充実についてでございます。

(1)でございますが、保育士等の処遇改善を図るための公定価格の改定等によりまして、不足が見込まれる私立認可保育所等の運営費を増額するものでございまして、特定教育(保育)施設等運営事業で15億9,341万7,000円を計上してございます。

続きまして、スポーツ・文化の充実でございます。

(1)としましては、「さいたま国際芸術祭」の開催に向けて、準備に着手するための予算でございます。これは、「さいたま国際芸術祭」を平成32年春に開催するため、早急に実行委員会を設置いたしまして、ディレクターの選任を経て開催計画を策定するとともに、国際芸術祭の開催を市内外に広く周知することを目的とする広報戦略等の策定を行う文化芸術都市創造事業並びに債務負担行為の設定についてでございます。(文化芸術都市)創造事業として168万円、そして債務負担行為で限度額2,140万円を設定するものでございます。

(2)でございますけれども、これは市民会館おおみやの機能移転に向けまして、再開発組合と公共床取得契約の締結をするものでございます。これは、市民会館おおみやを大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業におきまして建設されることになっております複合ビルに機能移転をさせるため、再開発組合との公共床取得についての契約を締結する文化施設整備事業でございます。これに13億2,450万8,000円、並びに債務負担行為としまして限度額252億5,087万6,000円を設定するものでございます。

続きまして、(3)でございます。これは、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会への気運醸成を図るため、「さいたまスポーツフェ

スティバル2018」を開催するための予算でございます。

これは、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会への気運醸成を図り、大会を成功に導いていくために、市民がオリンピック・パラリンピック競技種目等を気軽に体験できるスポーツイベントでございます「さいたまスポーツフェスティバル2018」の開催に係る債務負担行為の設定、限度額2,415万5,000円を計上するものでございます。

また最後に、その他といたしまして、(1)は、岩槻の情報を発信するとともに新たなにぎわいを創出するため、「(仮称)にぎわい交流館いわつき」の設計を実施する予算でございます。

これは、平成31年度末に隣接いたします「(仮称)岩槻人形博物館」との同時開館に向けまして、今年度中に開始する必要がある建物の設計業務に係る債務負担行為の設定を行う(仮称)にぎわい交流館いわつき設計業務、限度額2,725万5,000円を計上するものでございます。

次に、(2)でございます。これは、公共工事の施工時期等の平準化のため、債務負担行為を設定するものでございます。平成29年度から発注できるよう債務負担行為の設定を行う暮らしの道路整備(工事)(平成30年度分)ほか7つの事項について限度額合計7億7,700万円を設定するものでございます。また、それに加えまして、下水道事業会計として限度額合計6億4,800万円を設定する債務負担行為になります。

続きまして、主な条例議案についてご説明をさせていただきます。

まず、さいたま市生産緑地地区の区域の規模に関する条例についてでございます。都市緑地法等の一部を改正する法律における、生産緑地法の改正に伴う条例制定でございます。

生産緑地地区の面積につきましては、現行は法律におきまして500平方メートル以上であることが要件とされております。今般各市町村の状況を勘案し、国の(基準)に従って条例で面積要件を定めることができることとなったものでございます。

本市におきましては、この面積要件を国の基準の下限であります300平方メートルに引き下げるというものでございます。これによりまして、小規模な農地であっても生産緑地としての指定ができるようになりますので、都市農地の保全が図られることとなります。

次に、主な一般議案でございます。これについては、財産の取得についてでございますが、北袋（町）1丁目土地区画整理事業地内に公共公益施設用地として1万5,000.01平方メートルの土地を取得するものでございます。取得額は57億4,987万8,397円でございます。

議題の説明については以上でございます。

議題に関する質問

- 時事通信 それでは、市長からの説明につきまして各社から質問をお願いします。
 ございませんでしょうか。
- 朝日新聞 朝日新聞です。

 さいたま国際芸術祭の開催に向けての準備に着手のことで伺いたいのですけれども、こちらは恐らくディレクターの選定等をなさっていくと思うのですが、現時点のスケジュール感と、あとようやく次回に向けての着手ということだと思っておりますけど、市長の思いを改めて伺えればと思います。
- 市 長 次回に向けての決意ということですね。
- 朝日新聞 スケジュールも。
- 市 長 ちょうど昨年度、第1回目のさいたまトリエンナーレを開催させていただきました。実施をした後、さまざまな検証を行いまして、課題を明確にするとともに、またその評価についても行わせていただきましたけれども、経済効果についても、またその後の文化芸術にかかわる人材の育成であったり、あるいは機運の醸成であったりというようなことでも大きな効果を上げることができたと考えておりますので、その中で次の（国際芸術祭）に向けまして、準備を行ってまいります。

 今回は参加型の芸術祭を大きなテーマの一つとして掲げさせていただきました。この点については、目標10万人でした。残念ながら目標には届きませんでした。6万人を超える方々にこの芸術文化を創造する過程に参加をいただいて、多くの皆さんのご協力のもとに進めることができたわけですが、今後、より一層の市民の皆さんのご協力、あるいはご参画を得て、また東京オリンピック・パラリンピックに向けて、前回の反省点を十分に踏まえていながら、より効果の高い、文化芸術都市を創造していくための一つのシンボリックな事業としてさらに進めていきたいと考えております。

○ 朝日新聞 準備のスケジュールなのですが、ディレクターの選定とかは年度内というのは。

○ 事務局 ご質問の公募のスケジュールですが、これからディレクターを年度内に選定いたしまして、そのディレクターのもと、次期国際芸術祭の開催計画、広報戦略もあわせ、6月ぐらいまでには計画の詳細を詰めていきたいと考えております。

幹事社質問：

① さいたま国際マラソンについて

② 中国・鄭州市の訪問について

③ 西部環境センター職員に係る損害賠償請求事件の判決を受けて

○ 時事通信 では、幹事社のほうから3点ほど質問したいと思います。

1つは、さいたま国際マラソン、前日イベントということで市長も参加されましたけれども、2日間のマラソンを終えまして、本大会なり前日イベントなり、感想と今後の課題についてお伺いしたいと思います。

2点目は、鄭州訪問に関連して、海外視察の結果につきましてどういう活動をしたか、また感じたこと、訪問での成果と展望、これについてお聞かせ願いたいと思います。

また、3点目は、予算にも計上されていますけれども、東京高裁のパワハラ判決を受けて、上告期限までに上告しなかったということで経費が盛り込まれておりますが、その件について市長の所見をお伺いしたいと思います。よろしくをお願いします。

○ 市長 それでは、幹事社質問に順次お答えしていきたいと思います。

まず初めに、さいたま国際マラソンを終えた感想と今後の課題についてからお話をしたいと思います。まず、さいたま国際マラソンについてですが、天候にも恵まれて、参加されたランナーの皆様はもとより、沿道から熱い声援を送っていただきました市民の皆様にも楽しんでいただけたのではないかと考えております。大会を無事に終了することができて安堵しているところでございます。これもひとえに協賛各社を初め、警察や交通事業者等の関係機関の方々、またボランティアの皆様方、またコース周辺にお住まい

の皆様や事業者の皆様などのご理解、ご協力によるものでございます。心から皆様方に感謝を申し上げたいと思います。

11日、土曜日に駒場運動公園で開催いたしました駒場ファンランも昨年以上に盛り上がり、充実したイベントとなりました。また、私自身もこの駒場ファンランに参加をさせていただいたわけでありませけれども、昨年以上にたくさんの皆さんに参加していただき、翌日のフルマラソンとはまた少し違った雰囲気の中で実施をすることができた、走ることの楽しさを満喫することができたのではないかと思います。

特に最初の車いすの部、あるいは親子ランの部、1.5キロメートルの部、(2時間) チームランの部とそれぞれ開催したわけですが、特に私自身は車いすの部のスターターをやらせていただきました。昨年もそうでしたけれども、この車いすの部については、本格的に車いすマラソンをやられている方ではなくて、車いすで日ごろ生活をされる方に走っていただいたわけでありませ。ゴール、スタートするところでも大変楽しそうな表情を見せられておりました。また、(会場内) からたくさんの皆さんに応援していただいたこともあって、皆さん大変気持ちよさそうに、また楽しそうに走っていただいた姿が印象に残りました。

また、(親子ラン) でも、親子のきずなを深められる大変すばらしいマラソンになったのではないかと考えております。

(2時間) チームランの部については、私は職員の皆さんと一緒に参加をしましたが、私が若干足を引っ張ったきらいはございましたが、個人で走るフルマラソンの楽しさとは違って、チーム全体で走るマラソンの楽しさを味わえたのではないかと考えています。

また、10日の金曜日から12日にかけて、3日間けやきひろばで開催されました埼玉うまいもの市場では、ランナーのみならず多くの方々に埼玉のおいしいものや特産品を楽しんでいただくことができたと考えております。

また、今回フルマラソンには私自身出場いたしませんでしたが、そのかわり、給水所などボランティアが活動する現場を視察させていただきました。ボランティアの皆さん、明るくまた元気に、積極的に活動している姿を見せていただきまして、一緒に私も給水所で給水のコップを(用意)させ

ていただいたりしました。本当に生き生きと楽しそうに、またランナーの皆さんにも元気に応援の言葉をかけてくれていた様子が大変印象的でありました。

また、沿道の市民やボランティアの皆さんの声は、何よりもランナーの力になったと考えております。昨年以上に、また定員以上にたくさんのボランティアの皆さんに参加をいただきました。本当にありがとうございました。

今後の課題についてでございますが、一般フルマラソンの部の申し込みが定員に達しなかったことを残念に思っております。原因については、これから分析をしながら次の開催に向けて、その課題の解消に取り組んでいきたいと思っております。

また、昨年3カ所でありましたランナー用の食べ物を提供する場所につきましても、コースの前半部分に1カ所増やしまして、あわせて食べ物の量と種類も増やすことができたということで、おおむね皆さんにしっかりと届けることができた。また、フィニッシュをした後に、全てのランナーの皆さんに食べ物と飲み物も用意をさせていただきました。こうしたことは、ランナーの皆さんからも評価の声をいただいているところでございます。今後も行き届いたランナーサービスを提供して、エントリーの回復に努めていきたいと考えております。

また、代表チャレンジャーの部のフィニッシュ直前で適切な誘導ができず、ランナーがコースを間違える場面がございました。事前の準備や誘導の手順についてしっかりと検証して、再発防止をしなければならないと考えております。次回の大会に向けて、今大会をしっかりと検証して、またこの課題等を整理して、主催5者を初め警察や関係者と協議をしながら、次の大会に向けて準備を、反省を踏まえながら改善をしていきたいと思っております。それが1点目でございます。

2点目が中国・鄭州市への訪問についてでございます。今回の訪問は、友好都市提携35周年を迎えました周年記念事業として、鄭州市との交流を深め、友好親善を図るとともに、本市施策の参考となる先進事例等の視察を行うことを目的にしまして、11月14日から17日の4日間、3泊4日の行程で鄭州市及び帰国の乗り継ぎ地であります上海を訪れてまいりました。

まず、鄭州におきましては、市訪問団と市議会議員訪問団及び同時期に鄭

州を訪問されておりました市民訪問団のメンバーが鄭州市長を表敬訪問いたしましたして、鄭州市長及び幹部職員と交流について意見交換を行い、友好親善を図ってまいりました。また、先進事例等の視察につきましては、中国で人気の民間のシェア自転車事業を見てくるとともに、大規模コンベンション施設を有します鄭州市の新しい都心であります鄭東新区、それから中国経済の発展を支えております保税物流センターや国際陸港といった物流拠点、また広大な敷地で開催されております国際園林博覧会を視察してまいりました。

また、帰国の乗り継ぎ地でもあります上海におきましても、本市のリーディングエッジ企業に認証されておりますオリジン電気株式会社の塗料工場を視察してまいりました。

今回の訪問の成果といたしましては、まずシェア自転車事業については、その先進事例として、世界中でこの事業を展開しておりますシェア自転車大手のモバイク社の鄭州市事務所の視察ができました。モバイク社のシェア自転車事業の特徴は、自転車に通信機能を持たせて、利用できる自転車の場所の検索であるとか、利用開始時の鍵を開ける開錠、利用終了時の施錠、また利用料金の決済など、全てをスマートフォンアプリで行うことができるといったI o Tを用いることによって、無駄のない、コストを最低限に抑えたオペレーションが可能で、大変効率のよいサービスを提供されているという印象を持ちました。

また、中国では、歩道に自転車を止めても問題とならないために、特定のサイクルポートを整備する必要がないという状況もございました。

報道で一部話題となりましたシェア自転車の無断放置問題については、自転車に登載されているGPSによりまして、自転車1台1台の場所をリアルタイムに把握可能となっていること、また信用ポイント制度の導入などによって、無断放置は余り多くはなかったと思っております。むしろ歩道に整然と並んでいる光景が見られました。また、民間のこのシェア自転車の事業も1社だけではなくて、かなり複数の社がまさに競争し合って運営されていることで、非常に多くの市民が利便性を上げているという印象を持ったところでございます。

また、鄭州市の市長さん、それから幹部職員との意見交換をする中で、改

めて両市間の交流について継続を確認するとともに、この交流の幅を広げられないかというようなご提案、また意見交換もすることができました。観光面であるとか、あるいは経済的な交流というようなことも話題に出てきたところでございます。

特に今、鄭州市は、iPhoneの生産が世界の（約7割）を行っている場所ということであったり、あるいはちょうど（一帯一路）の中核的な拠点の都市の一つで、これからもまだ人口が2030年までに約1.5倍に増えるというようなことも計画しておりまして、さらに都市づくりが進んでいくということでもありますので、今後さいたま市としても、これまで以上の交流関係、あるいは協力関係にも結びつけることができるのではないかという印象を持ったところでございます。

続きまして、3番目でございます。西部環境センター職員による損害賠償の裁判についての考えということでございます。

本市としては、司法の判断を重く受け止めるとともに、ご遺族の心情に鑑み、これを受け入れることといたしました。亡くなられた職員が、若くしてみずからの命を絶ったことは極めて痛ましいことであり、深くご冥福をお祈り申し上げたいと思います。

また、裁判所において職場の安全配慮に対する対応等が一つの要因であると認定される点について真摯に受け止め、市を代表する者として率直にお詫びを申し上げたいと思います。

最後に、改めて亡くなられた職員のご冥福をお祈り申し上げますとともに、このような不幸な事件が二度と起こらないよう、全庁挙げて取り組んでまいりたいと考えております。

私からは以上でございます。

○ 時事通信

幹事社質問に関して、何かあれば質問のほうお願いします。

よろしいですか。

それでは、ほかに質問がある社はお願いします。

その他：浦和レッズ、大宮アルディージャ、それぞれの決戦に向けてのメッセージ

○ 埼玉新聞

埼玉新聞と申します。

レッズと大宮アルディージャについてなのですが、今週末に浦和レッズはACLの決勝、大宮アルディージャは残留か降格がかかる大一番、両チームとも重要な試合を迎えるわけですが、市長さんのほうから一言両チームに、決戦に向けてメッセージを送っていただけるとありがたい。

- 市長 まず、浦和レッズにつきましては、Jリーグ本体といたしますか、そちらのほうでは残念ながら優勝という目標はかないませんでしたけれども、ACLで大変大きな活躍をしていただいております。私もこのACL、決勝を観戦させていただく予定でありますけれども、まさにさいたま市のサッカーのまちとしての役割をしっかりと受けとめていただいて、このACLで、また決勝で、素晴らしい試合を見せていただくことを期待しておりますし、ぜひ勝っていただいて、このACLでの優勝の栄冠を勝ち取っていただきたいと思っています。

それから、大宮アルディージャについてでございますが、現在ちょうど18日の仙台戦で敗れてしまったことによりまして、J1残留については大変厳しい状況であるということについては承知をしておりますが、最後まで決して諦めることなく、この残留に向けて戦い抜いてほしいと思っております。

また、26日の甲府戦についても、私自身も応援に駆けつけて、サポーターの皆さんと一緒にこのNACK5スタジアム大宮で、全力で応援をしたいと思っております。

ネバーギブアップという言葉をお送りしたいと思います。

- 時事通信 そのほかございますでしょうか。

議題に関する質問：大宮国際中等教育学校の校名の決定について

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。

ちょっと議会の議案の質問に戻ってしまうのですが、今回の議案の条例議案の中に、さいたま市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定ということで、美園北小学校、美園南中学校の設置と同時に、さいたま市立大宮国際中等教育学校の設置ということであるのですが、これ旧大宮西校の場所に建つ中高一貫校のことだと思うのですが、これの校名の決

定について、これはまず最終決定ということなのでしょう。

○ 市 長 ご質問にお答えをしたいと思います。

まず、大宮に設立されます中等教育学校の校名についてでございますが、教育委員会におきまして校名検討委員会を立ち上げまして、校名のアイデアについて広く市民から募集をいたしました。

いただいたアイデアをもとに、校名の検討委員会で検討を重ねて、最終的に大宮国際中等教育学校ということで決定したと伺っております。

大宮西高等学校の在校生や卒業生の皆さんからも校名のアイデア募集について周知し、多数の応募をいただいたと聞いております。

○ 埼玉新聞 関連してなんですけれども、これ校名のアイデア募集ということで、今年の6月でしたかね、市内在住、在勤、在学の方に広く募集したかと思いますが、どれぐらいの応募があったのかということと、あと中高一貫校に移行に当たって、伝統は引き継げなくなるんじゃないかということで、大変在校生ですとか卒業生のOB、OGの方から心配する声が上がっていたんですが、この校名について、そのあたり伝統を引き継げたというふうに解釈をしていらっしゃるということではよろしいのでしょうか。

○ 市 長 まず、応募の数は後ほどということで。

校名についてですが、最終的に今言ったような大宮西高校の在校生、また卒業生の皆さんからも校名についてのアイデア募集というものを行わせていただき、皆さんからも多数の応募があったと聞いております。

それを踏まえて決定されたということでありまして、また広く市民からの募集も行って、検討委員会で検討を重ねた上で、こうした名前ができた聞いておりますので、そういったものも十分引き継げたと考えております。

また、大宮西高校という名前でしたので、大宮西までは入りませんでしたけれども、大宮という名前が継承されたと考えておりますし、またあわせて大宮西高校は、グローバル化ということで、ここ数年ずっと市立高校としての特色を出していこうという取組が行われてきましたので、そういった取組をさらに具現化し、先に進めていこうということで、さいたま市から世界へ飛躍するグローバル人材の育成という、そういったこれまで大宮西高校で取り組んできた思いもきちんと継承させていただいております。

具体的には、国際的な教育プログラムであります国際バカロレアの認定校

ということも目指しながら、大宮西高校の伝統も引き継ぎ、そして国際的に活躍できる学校をつくっていかうということで、名前もそのような思いが込められてつけられたと私自身も感じておりますし、そういった認識を持っております。

そういう意味では、いろいろな皆さんの思いが引き継がれて名前に反映された、すばらしい名前であると私は認識しております。

- 事務局 応募の総数が785件、アイデアがそのうち191件になります。
- 埼玉新聞 これ多数決とかなんですか。それとも何かアイデアというのは参考までにということなんでしょうか。
- 事務局 アイデアということで募集しておりますので、応募の件数で決めたということではありません。あくまでも、委員会のほうで原案はつくったということになります。
- 時事通信 各社よろしいでしょうか。
それでは、幹事社のほうからは終わりますので、当局のほうよろしく願いします。
- 進 行 以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。
なお、次回開催は12月13日水曜日、13時30分からを予定しております。よろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

午後2時35分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。